

大会名 Competition	第24回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-101	Year Month Day Time 2011 年 5 月 3 日 9 : 00
場 所 Place	能代市総合体育館



チーム A		チーム B					
能代工高	<table border="1"> <tr><td>15 1st 12</td></tr> <tr><td>22 2nd 21</td></tr> <tr><td>32 3rd 13</td></tr> <tr><td>24 4th 20</td></tr> <tr><td>OT</td></tr> </table>	15 1st 12	22 2nd 21	32 3rd 13	24 4th 20	OT	新潟商業
15 1st 12							
22 2nd 21							
32 3rd 13							
24 4th 20							
OT							
93 ○		66 ●					

主審:Referee  
高橋 申次 (群馬県)  
副審:Umpire  
信太 悦美 (秋田県)  
テーブル・オフィシャルズ:Table officials  
能代商業高校

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F
4	×	志 水 一 希	cap	4	0	2	0	0	4	×	黒 崎 海 斗	CAP	5	1	1	0	2
5	/	中 村 正 也		12	0	3	6	4	5	/	笹 川 錬 也		4	0	2	0	0
6	×	溝 坂 太 成		2	0	1	0	0	6	×	小 川 健 太		6	0	3	0	3
7	/	田 中 浩 喜		12	1	4	1	1	7	×	江 部 大 樹		6	2	0	0	3
8	/	伊 藤 健 太		0	0	0	0	1	8	/	神 田 佑 成		10	0	4	2	3
9	/	中 山 祐 樹		21	0	8	5	1	9	×	近 藤 孝 仁		13	0	5	3	3
10	×	熊 谷 慎 也		8	0	3	2	4	10	/	小 柳 多 功		10	0	4	2	0
11	/	秋 葉 真 司		0	0	0	0	2	11	×	笹 原 一 生		3	1	0	0	5
12	×	野 里 惇 貴		19	0	9	1	0	12		伊 藤 賢 人		-	-	-	-	0
13	/	土 屋 真 人		7	1	2	0	1	13	/	大 矢 孝 太 郎		9	0	4	1	1
14	/	金 田 海 郷		3	1	0	0	0	14		今 井 惇 司		-	-	-	-	0
15	/	中 島 強 太		3	0	1	1	0	15		藤 井 智 己		-	-	-	-	0
16	/	松 本 大 河		0	0	0	0	1	16		新 沢 亮 太		-	-	-	-	0
17	×	佐々木 健 登		2	0	1	0	1	17		加 藤 豪 太		-	-	-	-	0
18	/	小田桐 匡 志		0	0	0	0	0	18		渡 辺 樹 大		-	-	-	-	0
コチ		佐 藤 信 長							コチ		中 屋 廣 昭						
Aコチ		平 山 智 哉							Aコチ		丹 波 浩 之						
		合 計		93	3	34	16	16			合 計		66	4	23	8	20

※×:スターター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3P率\* イントシュート 2P:2P率\* イントシュート FT:フリースロー F:ファウル

1Q、能代工はハーフマンツーマンディフェンス、新潟商はオールマンツーマンディフェンスでスタートする。立ち上がり、両チーム共に動きが硬く、なかなかシュートを決めることが出来ない。開始2分を過ぎてようやく能代工が#12野里のジャンプシュートで先制する。対する新潟商は開始約3分後ようやく#6小川のゴール下で得点するが、能代工は#12野里の3連続得点で突き放しにかかる。新潟商は果敢にドライブしゴール下までボールを運んでいくもののなかなかシュートを決めきれないでいたが、#6小川のゴール下や#4黒崎の3Pで食い下がる。しかしその後両チーム共に決め手を欠き15-12能代工3点リードで1Q終了。

2Q、能代工はディフェンスを3クォーターからの2-1-2ゾーンに切り替え、#5中村の1対1を中心に#9中山のジャンプシュート、#15中島のフリースローで突き放しにかかる。新潟商は能代工ディフェンスの穴を突いて#8神田のドライブや#10小柳が裏から抜けるパスからゴール下を決め、食らいついていく。その後両校共にターンオーバーが多く膠着状態が続き、新潟商は31-27となったところでタイムアウトを取り、#7江部の3Pなどで追いつこうとするが、能代工も#12野里の連続ジャンプシュートで突き放し点差は縮まらず、37-33で前半を終了する。

3Q、動きが良くなった能代工は激しいディフェンスからリズムを作り、#4. 清水のドライブからのレイアップ、#12野里のジャンプシュート、#10熊谷のゴール下などで試合の主導権をつかむ。新潟商は#6小川のレイアップが1本決まっただけで全くシュートを決めることが出来ず、残り5分37秒、47-35と12点リードされたところでたまたまタイムアウトを取り、流れを変えようとする。しかし、能代工のオールコート1-2-2ゾーンなど、多彩なディフェンスを切り崩すことが出来ない。逆に能代工は#9中山のジャンプシュートを皮切りに怒涛の攻撃を見せて新潟商を突き放し、結局69-46、能代工23点リードで3Q終了。

4Q、能代工の猛攻は続く。#7田中の3P、#9中山のドライブなどで得点を伸ばしつつ、ディフェンスも2-1-2オールコートプレスが存分に破壊力を示す。新潟商は#13大矢、#10小柳のゴール下で反撃を試みるもいずれも単発に終わり、30点差以上離れたところで能代工は全メンバーを交代する余裕を見せる。結局、93-66で能代工がオープニングゲームを勝利した。